







二面からつづく

残すという政治体制を構想している。だが、このような政治体制は官僚層にとっては存続させる余地のないものであり、反革命でもって粉砕すべきものに他ならなかった。独立し、官僚層を交渉相手として

### (3) 官僚支配のたそがれ

《連帯》がつくりだした革命に、官僚階級の反革命が軍政という形をとらざるを得なかったこと、ここに国際的なスターリン主義的官僚の支配体制に命脈がつけつつあることを示す標識がある。

ソ連型の国家的所有にもとづく官僚階級の支配が政治的・思想的役割をその根本におくものである以上、解体した党に代る軍による官僚階級の支配を形成することはできない。

ソ連におけるスターリン主義的官僚階級の形成は、全社会を官僚階級の下に組み込むことにもとづいてなされたが、そのためにはプロレタリアート・人民のなかにかつての忠誠心をかきたるることが必要であった。すでにその権威が地に落ちているスターリン主義を、ポロランド社会の官僚階級を支配することは不可能であり、軍政は官僚階級の維持に必要な人格的依存関係を生産するところから、逆に政府に対する不信の念を

### (4) 過渡期階級闘争の展望

軍政がスターリン主義的官僚支配の破綻の上で登場したものであり、そして軍政の過程でこの官僚支配が再建されないならば、それは長期化せざるを得ない。その際、軍政は「連帯」とソ連の官僚階級との対立の上に立つたポロランド・ソ連としての性格をもつものとなる。そういうものとして、その立場からの指導が不可欠となる。

## (二) ポロランドの革命と反革命

五六年のボズナニ蜂起以来の労働運動と反体制派の活動を蓄積をふまえて、七〇年代の党と政府の経済政策の破綻による経済危機に直面して、ポロランドのプロレタリアートは八〇年夏にスターリン主義的官僚支配に抗してストライキ闘争を展開した。

このように政治体制は官僚層にとっては存続させる余地のないものであり、反革命でもって粉砕すべきものに他ならなかった。独立し、官僚層を交渉相手として

動によって地方的規模での実権を掌握することをめざした。とはいえ「連帯」が党から自立して活動するための二項目の要求中の権利、検閲の廃止による出版の自由、政治犯の釈放、情報の公開、及び官僚の特権の廃止、は最低の必要条件であり、党と政府はゼネストに直面して一たんはこれらの政治的要求をのまざるをえなかった。

第三の柱はスターリン主義的官僚支配下の階級闘争における階級対立の非階級性を軸に存在しているかを明らかにし、改革派及びユーロコミニズムが主張していた、官僚主義を民主主義で克服するという路線の破綻について明らかにしている。

第四の柱は過渡期世界闘争の立場から世界のプロレタリアートの任務を示し、ポロランドの階級闘争を世界革命の一環として位置づけ、プロレタリアートの国際主義を復権することである。

第五の柱は革命戦争に際しても用意のある党建設が、植民地・従属国や帝国主義国のみならず、スターリン主義諸国においても必要であり、かつ現実的な問題となっていることを示し、国際非法党建設を呼びかけることである。

### (三) ソ連の官僚階級の支配様式

#### (1) 社会全体の官僚制

ソ連における搾取階級支配・隷属の様式について、すでにわれわれは「ソ連における階級の形成」(第八章「赤報」三六号)で明らかにしておいた。

その結果生産手段と労働力とは相対的に分離し、これを結合する形態は賃金制度となり、国家的所有という生産手段の一種の社会的形態から生じる社会的機能を横断している官僚階級による剰余労働の搾取が可能となっている。

この階級による剰余労働の搾取が可能なのは、官僚階級の支配を維持することが、官僚階級の支配を維持するための条件である。社会全体の官僚制は直接生産者からの生産手段の相対的分離を基礎とした、人格的依存関係の一種である。この人格的依存関係は、奴隷制や農奴制の如き人身的支配・隷属の関係ではなく、政治的・思想的支配・隷属の関係をその内実としている。

従ってソ連の社会全体においてつくられている官僚制は、ソ連共産党がはたしている政治的・思想的役割をめぐりにして存立不能である。それだけでなく、法制的形態の側面から明らかにすることも、労働者階級内部に階級制が導入されれば、階級的に分析されていることである。

この階級による剰余労働の搾取が可能なのは、官僚階級の支配を維持することが、官僚階級の支配を維持するための条件である。社会全体の官僚制は直接生産者からの生産手段の相対的分離を基礎とした、人格的依存関係の一種である。この人格的依存関係は、奴隷制や農奴制の如き人身的支配・隷属の関係ではなく、政治的・思想的支配・隷属の関係をその内実としている。

この階級による剰余労働の搾取が可能なのは、官僚階級の支配を維持することが、官僚階級の支配を維持するための条件である。社会全体の官僚制は直接生産者からの生産手段の相対的分離を基礎とした、人格的依存関係の一種である。この人格的依存関係は、奴隷制や農奴制の如き人身的支配・隷属の関係ではなく、政治的・思想的支配・隷属の関係をその内実としている。

この階級による剰余労働の搾取が可能なのは、官僚階級の支配を維持することが、官僚階級の支配を維持するための条件である。社会全体の官僚制は直接生産者からの生産手段の相対的分離を基礎とした、人格的依存関係の一種である。この人格的依存関係は、奴隷制や農奴制の如き人身的支配・隷属の関係ではなく、政治的・思想的支配・隷属の関係をその内実としている。

書評

ヴォスレンスキー著 『ノーメンクラトゥーラ』

(一) アンバラランスな出来ばえ

『ノーメンクラトゥーラ』(中央公論社)の著者、ミハイル・S・ヴォスレンスキーは、自らがノーメンクラトゥーラと名づけたソ連の支配階級の一員であった。彼は一九七二年に西ドイツに亡命し、マックス・プランク研究所でこの本を書きあげたという。

また歴史をあつかった部分での基本的な誤りは、プロレタリアートの階級闘争の分析が全然なく、あれこれの指導的諸個人の主張が、それがなされた歴史的背景をぬきにして取り出され、色々組み合わせた歴史を説明する素材とされている。従って彼の歴史解釈は非常に恣意的なものであり、例えは第二章ではスターリン主義について長々と論じている。

以上がヴォスレンスキーが四章で述べているソ連の支配階級について、非和解的に対立する階級として行動しているという現実である。動いているという現実である。動いているという現実である。

このように分配方式については、永続化させるための諸項目から構成されている。そしてまたこのように官階級による支配のメカニズムによって、ソ連の支配階級の政治が規定されている。

結局四章を中心としたノーメンクラトゥーラの動態分析が本書の唯一の成果である。そしてこの本で描かれた支配階級の動態は、われわれがこの間述べてきたソ連における階級闘争に対する評価は、諸条件がどのように形成されたか、ということによって与えられなければならない。

報

赤

(二) 官僚階級の動態分析に鋭いメスをふる

歴史的叙述でもなく、理論的主張でもなく、官僚階級(ノーメンクラトゥーラ)の動態の報告という限りの積極的意義をもつこの本からは、その動態についての記述を紹介することが唯一の意義ある作業である。

級とはみなさないのが第四インターナショナルであるが、この点でこれと同じ立場に立つドイッチャーは、官僚階級を形成してはならない理由として次の諸点をあげたことがあった。

彼が主張しているように、ノーメンクラトゥーラは、階級を示すものとして重要な印として、職業的支配者となつた職業革命家の遺産相続人、ノーメンクラトゥーラであるが、資産家の階級ではない。

このように水準の分析ではどうしてソ連における搾取様式の解明とはならない。だから四章でソ連における支配階級について、その鋭い分析を見せたヴォスレンスキーも五章におけるマルクス主義的階級分析が失敗に帰しているために、六章での特権階級の分析である。

見解について検討すれば、第一に資本主義的生産様式の上で咲いている民主主義を、別の社会構成体である過渡期の国家的所有を土台とするソ連に求めようとしている。この点で誤りがあり、第二に民主主義の未確立にソ連の欠陥を求めるとは、ソ連を基本的には社会主義社会とみなしていることになる。

「新しい階級」は、純粋に実際的原因から、周囲から浮びあがり、自らの境界を確定せざるを得ない。「管理者」階級自身は、それがこの階級に属しているかを正確に知っている。この点にノーメンクラトゥーラの客観的な意味がある。(一三三頁)

連の法制をそのまま受け取り、③以下では反官僚、民主化闘争に対して楽観的な期待をいだいていることを意味している。

以上がヴォスレンスキーが四章で述べているソ連の支配階級について、非和解的に対立する階級として行動しているという現実である。

だが支配階級が富を分配することが出るためには、その前に直接生産者から剰余労働が搾取されなければならない。ノーメンクラトゥーラはどのようにして直接生産者から剰余労働を搾取しているか、このことを明らかにすることが、マルクス主義的意味での階級分析の根本内容でなければならぬ。

だが一たこの体制が形成され、官僚階級に転化する事態は異なる方向へと転化していった。党の至上の役割を認め、それに對して従事するという一線を越えなければ、一定の枠内の異論の提起は許容されるようになった。

共産主義者同盟の歴史入門(二)

スターリン神話の崩壊

編集局より

共産主義者同盟の登場は、その前時代における国際階級闘争が戦後処理の枠組みを崩壊...

の歴史をもとに必要がある。今回はスターリン神話の問題を一軸点においてそれをまとめ...

を行使しようという積極政策を打ち出さず、アメリカ帝国主義が考えて...

一問一答 戦後の国際階級闘争のなかでソ連共産党の影響力の展開はどうだったか

余等 第二次大戦後における世界政治に対するソ連の影響力の行使は、ヒトラーに対するソ連赤軍の勝利...

の戦後処理は、取引の枠におさまらなくなりました。実際はソ連共産党が...

の第二インターナショナルに傾く、潮流が存在する。その主流派は第一次世界大戦勃発時に...

悪であり、これに反対しなければならぬという合理的認識だけでは大勢に抗することはいかん...

は暴力的な形をとらざるを得ない。第一に、その組織が形成された時点で...

二問二答 スターリン神話とは何かということについて簡単に説明して下さい

余等 スターリン神話というのは、この共産主義者同盟のソ連共産党によるソ連の階級闘争のなかで...

政治は一転して米ソの冷戦という形に転化していきまが、この冷戦のなかで...

その活動が出来なくなり、その後組織は消滅していきまが、この第一インターナショナルの運動を...

革命が十月革命の過程で革命的闘争の中で第二インターナショナル左派のボリシェヴィキが...

この一気には社会主義社会を実現できないというふうなことは誰も考えていなかった。ヨーロッパのドイツとかイギリスなどの資本主義の発達した国で革命が起ると...

三問三答 今日スターリン(第三インターナショナル)が話に出ましたが、これはどのような形に成されたのですか

余等 これは第一インターナショナルの左派がその源流でした。第一インターナショナルはマルクスのエンゲルスが結成に加わり...

これを「戦後処理にかかわる問題」として扱っていいと思います。これは戦後処理にかかわる問題...

を果しました。これを「戦後処理にかかわる問題」として扱っていいと思います。これは戦後処理にかかわる問題...

合運動を基盤にして改良的な成果をつまみ重ねる。この会議で次第に多数を握り、革命の政策を順次導入して...

この一気には社会主義社会を実現できないというふうなことは誰も考えていなかった。ヨーロッパのドイツとかイギリスなどの資本主義の発達した国で革命が起ると...

内戦で党と国家の官僚主義化
ところが、一八八一年に入ると帝国主義列強による干渉戦、それに刺激されたロシアの白軍による内戦が...

と国家に大きな変化を与えることになりませう。

十月革命を成功させた母体はソビエトという組織ですが、このソビエトは当初は武力で押しつけた革命ロシヤも戦争していたわけであらう。...

この官僚主義化といふことの一つのメルクマールは賞賛、国家の官吏の数、軍隊の数、等の増大にあらわれていますが、例えれば賞賛の数、革命前には数千人であつたものが、内戦の過程で数十万人にふくれあつていくといふような事態があつた。...

この官僚主義化といふことの一つのメルクマールは賞賛、国家の官吏の数、軍隊の数、等の増大にあらわれていますが、例えれば賞賛の数、革命前には数千人であつたものが、内戦の過程で数十万人にふくれあつていくといふような事態があつた。...

戦時共産主義を移行するための段階とみなしたのが間違ひだったとき、もう一度商品経済へ後退しなければならぬといふこと、ネップ(新経済政策)と名づけられた、強制調達を食糧に切りかえ、都市と農村、労働者と農民の結びつきを再建が図られるようになり、...

そのころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

と判断して、膨大に政権に流れ込んだので、戦時共産主義の時期に官僚主義化したロシアの党と国家機関が、ますます官僚主義的になり、...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

を喜んでおり、そのようにならなうと国家の運営に参加し、その実権を握つていきました。

その結果レーニンが言っているわけですが、自分達は確かにソビエト権力を握つて党と国家を指導しているが、それは実際には形式だけであつて、本当にロシアの党と国家を動かしているのは膨大な党員と官吏である。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

また、この困難に直面してスターリンは、農民の剰余穀物没収に刑法を適用してそれを強制的に買いつけるという方法を採用すること、調達を計画通りに行うことにかみ切りしました。

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

このころにはヨーロッパ革命の成功がかなり難かしいといふことがはつきりして来、ロシア一国内でかなり長期にわたつて持ちこたえなければならぬ、といふようなことが指導部にとって考えられるようになっていきました。...

RG資料集 残部僅少!

